

大阪市

富士精版印刷株式会社

所在地 大阪市淀川区西宮原2-4-33
代表者 代表取締役社長 里永 健一郎
事業内容 印刷・製版・製本業
創業 1950年(昭和25年)
従業員数 154名
TEL 06-6394-1181
URL <http://www.fujiseihan.co.jp/>

事故はかくすな

ガラス張り経営が従業員のモラル向上、顧客満足につながる

■技術向上第一主義

弊社は昭和25年に商業印刷を行う会社として創業し、今年で65年を迎えます。パンフレットやカタログなどのオフセットカラー印刷から、デジタルカタログ制作などのサービスまで幅広く提供しています。

創業以来、「商いは高利をとらず正直に良品を売れ末は繁盛」という経営理念のもと、「技術向上第一主義」を経営方針にして取り組んできました。

「技術向上第一主義」は、創業以来、主に製薬メーカーと取引させていただいてきたことが大きな理由になっています。薬品関係では一文字のミスが人の命にかかります。製薬メーカー様の厳しい品質要求に応えるために、弊社は技術革新に努めてきました。



主力工場の市島工場（兵庫県丹波市）

■事故はかくすな

弊社の技術革新を支えるのが、社長直轄の組織である品質管理室です。品質管理室は、昭和63年、「事故はかくすな。正直に報告し、原因を追究せよ」という石川忠社長（現会長）の方針に基づいて発足しました。品質管理室は、毎年の印刷トラブル事例を『品質管理365日』という報告書にまとめ、印刷工業組合を通じて、同業者・印刷関連業者の方々に無償で配布しています。

『品質管理365日』の特徴は、事故の原因や発生プロセスの分析だけでなく、損失金額も公開していることです。

社内での情報共有にとどまらず、外部に情報を公開することは、企業の恥部をさらすことになり、非常識のそしりを受けるかもしれません。

しかし、風通しの良い企業風土と双方向のコミュニケーションが、品質向上に大きく貢献すると考えています。

平成27年4月には、本書のデジタルブック版を、ホームページに公開しました。同業者はもちろん、デザイナー・印刷発注者の皆様と事故情報を共有することが、印刷技術のさらなる向上につながると考



印刷トラブル事例をまとめた報告書『品質管理365日』。ホームページでも公開されている。
http://kikaku.fujiseihan.co.jp/ebook/qc365days_no5/

えたからです。

デジタルブックには、閲覧者がどんなページに注目しているのか、どんなキーワードで検索しているのかなど、閲覧行動を分析できるメリットがあります。この解析データは、平成27年10月末刊行の第6集の作成にあたって、編集・デザイン上の改善に活かされています。

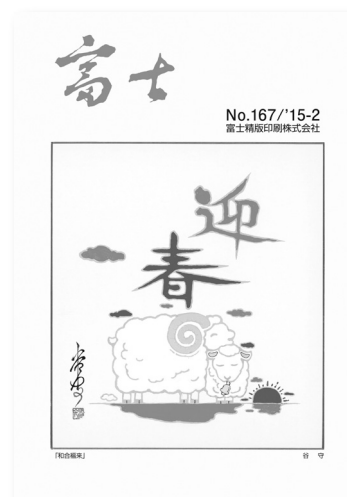
■「正直」こそ最大の戦略

弊社の情報公開の原点は、年3回発行する社内報『富士』です。

『富士』は昭和33年に創刊され、すでに168号を数えます。毎年の印刷事故の報告はもちろん、決算報告等を掲載しているのが特徴です。創刊時には、ディスクロージャーという言葉さえほとんど知られていなかった時代です。

会長の石川忠は、父親の経営していた紙メーカーの失敗の経験から、社内融和と信用の大切さを痛感したと言います。決算報告の公開により、昇給や賞与についての社員の理解も深まり、株主・銀行からの信用度アップにもつながっています。社内報ですが、その役割は「社外報」。堅い記事ばかりでなく、クラブ活動報告や趣味のページも充実させ、ファンづくりに一役買っています。

インターネットの普及で、紙の印刷物は減ってき



社内報『富士』
 (表紙絵は愛染まつりのポスターで知られる谷守画伯)



『薬用草木カレンダー』
 (表紙はウコンの花)

ています。弊社も時代に合わせたデジタル商品の制作に取り組んでいますが、やはりこだわっていきたいのは紙媒体です。高精細印刷の可能性をとことん追求したオリジナルカレンダー『薬用草木』、創立60周年記念出版『白描源氏物語』などは、弊社のお客様以外にもファンが大勢います。その目的は、技術力のアピールとともに、紙メディアの魅力を伝えていくこと。弊社は印刷業を通じて、社会貢献と業界発展のために邁進していきます。